

2008 年度

科目名 博物館実習（事前・事後の指導を含む）	対象学科・学年 文学部全学科 3 回生 教育教福 3 回生 人間人社 3 回生	担当者 竹谷 俊夫
授業テーマ 学芸員の仕事を体験する		
授業の概要と目標 日本の博物館、美術館で働く学芸員は雑芸員と揶揄されるほど、雑多な仕事をかかえている。その仕事の一部を体験し、学芸員の仕事内容を理解する。 夏季期間中に学外にて 3～5 日館の集中授業がある。		
評価方法 実習態度、出席、提出物などにより評価する。		
テキスト 『博物館実習マニュアル』	著者 全国大学博物館講座協 議会西日本部会/編	出版社 芙蓉書房出版
参考書 『埋蔵文化財発掘調査の手びき』	著者 文化庁文化財保護部	出版社 (財)国土地理協会
授業スケジュール・内容 1 実習の進め方 2 資料の扱い方(1) モノの取り扱い方 3 資料の扱い方(2) モノの貸し借り 4 資料の扱い方(3) 梱包 5 資料の修復(1) 6 資料の修復(2) 7 資料の修復(3) 8 資料の修復(4) 9 資料の記録(1)拓本 10 資料の記録(2)拓本 11 資料の記録(3)拓本 12 資料の記録(4)拓本 13 資料の記録(1)実測・模写 14 資料の記録(2)実測・模写 15 資料の記録(3)実測・模写 16 資料の記録(4)実測・模写 17 資料の記録写真(1) 18 資料の記録写真(2) 19 資料の記録写真(3) 20 印刷の話(1) 21 印刷の話(2) 22 案内ハガキ・ちらし・ポスターの作成(1) 23 案内ハガキ・ちらし・ポスターの作成(2) 24 展示図録の作成(1) レイアウト 25 展示図録の作成(2) 発注の仕方 26 受付・広報 27 展示施設・収蔵庫 28 展示実習(1) キャプション・写真パネルの作り方 29 展示実習(2) モノの展示 30 まとめ		